



庄内総合支庁長記者懇談情報提供項目
令和8年1月20日（火）
産業経済部農業振興課

「庄内砂丘メロン研修大会2026」の開催 ～産地における高品質安定生産に向けて～

庄内砂丘メロンは、7月から8月の東京都中央卸売市場における取扱数量（令和7年：約1,500 t）及び取扱金額（令和7年：約7億5,400万円）が日本一となっています。

庄内砂丘メロンのさらなる高品質安定生産を図るため、メロン生産者や農業関係団体、行政機関等を対象に、つる割病などの土壌病害対策や県で試験研究を行っている多収栽培（5果どり）技術等について学ぶ研修会を開催しますので、当日の取材について御協力くださるようお願いいたします。

【事業概要】

1 日 時

令和8年2月4日（水）午後1時30分から午後3時30分まで

2 場 所

三川町子育て交流施設テオトル多目的ホール
（東田川郡三川町大字押切新田字桜木8-1）

3 内 容

- （1）「茨城県におけるメロンつる割病の防除対策について」
～令和7年12月の現地視察で得られた知見と県の対策への反映について～
報告：庄内総合支庁産業経済部酒田農業技術普及課
- （2）「令和7年度土壌病害実証圃における実証結果について」
報告：庄内総合支庁産業経済部農業技術普及課
- （3）「県の試験研究に係る最新状況報告」
 - ①「アンデス」の多収栽培技術（5果どり）
 - ②植物成長調整剤による着果安定・果実肥大・ネット形成促進効果
報告：庄内総合支庁産業経済部農業技術普及課産地研究室

4 参集者

メロン生産者、農業関係団体、行政機関等 約100名

5 主 催

庄内砂丘メロン産地強化プロジェクト会議（事務局：農林水産部園芸大国推進課、庄内総合支庁産業経済部農業振興課・農業技術普及課・産地研究室・酒田農業技術普及課）

※ブランド価値の向上、情報発信力の強化及び高品質安定生産の推進に取り組むため、山形大学農学部、JA全農山形、JA鶴岡、JA庄内みどり、JAそでうら、青果物卸売業者、管内関係市町及び県で構成



担当：農業振興課
課長補佐（農産園芸担当）
齋藤 信弥
電話：0235-66-5507